

2015年3月9日

各 位

会 社 名 株式会社 エー・ディー・ワークス
 代表者名 代表取締役社長 CEO 田中 秀夫
 (JASDAQ・コード3250)
 問合せ先 常務取締役 CFO 細谷 佳津年
 電話番号 03-4500-4208

2015年3月期を初年度とする第4次中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、2015年3月9日開催の取締役会において、2014年3月31日に公表いたしました2015年3月期を初年度とする3ヵ年の第4次中期経営計画を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 第4次中期経営計画（2015年3月期～2017年3月期）の修正

【当期（2015年3月期）】

(単位：百万円)

	売上高	EBITDA	経常利益
前回発表 (A)	12,700	787	500
今回発表 (B)	10,712	756	520
増減額 (B-A)	△1,988	△31	20
増減率 (%)	△15.7	△3.9	4.0
(参考)前期連結実績 (2014年3月期)	11,537	813	450

【計画2年次（2016年3月期）】

(単位：百万円)

	売上高	EBITDA	経常利益
前回発表 (A)	13,910	935	600
今回発表 (B)	12,400	935	600
増減額 (B-A)	△1,510	—	—
増減率 (%)	△10.9	—	—

【最終年度（2017年3月期）】

(単位：百万円)

	売上高	EBITDA	経常利益
前回発表 (A)	15,120	1,170	800
今回発表 (B)	13,600	1,170	800
増減額 (B-A)	△1,520	—	—
増減率 (%)	△10.1	—	—

2. 修正の理由

価格の上昇基調が続く不動産市場を背景に、収益不動産販売事業の利益率が当初想定していたものよりも高めに推移したことから、利益計画に対する進捗率は、売上高計画の進捗を上回って推移しました。

また、当社は第4次中期経営計画において「収益基盤の安定化」を方針のひとつに掲げ、収益不動産の積み上げを優先して進めていることに加え、昨今、バリューアップに時間を要する収益不動産を仕入れることが多くなっているなどの理由から、当期については期初計画に比べ減収増益の計画値に修正いたしました。

併せて、2016年3月期及び2017年3月期については、当期の状況を踏まえ、再度検証した結果、収益不動産販売事業に関する利益率を見直し、当初計画の利益額を確保しつつ、売上高の計画値を修正することといたしました。

(ご参考) 中期計画達成に向けたガイダンス

(単位：百万円)

	2014年3月期 実績	2017年3月期 ガイダンス
短期販売用収益不動産 平均保有残高	2,545	6,500
中長期販売用収益不動産 平均保有残高	4,626	8,500
賃料収益額	310	700
収益不動産販売事業 ROA	14.9%	6.8%

(注) 収益不動産販売事業 ROA につきまして

収益不動産販売事業 ROA (%) = 収益不動産販売事業のセグメント利益 / 販売用収益不動産平均保有残高 × 100

以上

ご注意：

上記の業績計画につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、本書の作成時点における当社の判断又は認識に基づいておりますが、実際の業績は、今後の様々な要因により本書に記載された計画等と異なる可能性がございます。

なお、当社では、グループ全体の確度の高い情報及び合理的であると判断される情報を基に、各四半期における進捗の見通しを「フォーキャスト」として更新し、四半期ごとに1回以上（四半期末日は必ず開示）を目安に開示することとしております。当該「連結業績フォーキャスト」については開示方針を定め、方針に則して運用しております。